

教科		数学		科目	中学校数学 2	単位数	6 単位
学年	中学 2 年	科			専攻・コース		
教科書		教育出版			副教材	自立学習	
学習到達目標		<p>数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する力を高めるとともに、数学的活動のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断しようとする態度を育てる。</p>					
評価の観点		<p>式の計算、連立方程式、一次関数、図形の性質と合同、三角形と四角形、確率において数学的な見方や考え方、技能、知識、意欲などから総合的に評価する。</p>					
期	月	学習内容・項目		学習のポイントと到達目標			備考
前	4	式の計算		<ul style="list-style-type: none"> ・多項式の用語を理解し、正しく使うことができる。 ・多項式の計算方法を理解し、その計算ができる。 			
	5	連立方程式		<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式の解き方を理解し、加減法や代入法によって解くことができる。 ・具体的な事象の問題解決に際して、連立方程式を利用して解くことができる。 			
	6	一次関数		<ul style="list-style-type: none"> ・一次関数の関係にある 2 つの数量 x、y について $y = a x$ という式に表すことができる。 ・一次関数のグラフが直線であることを理解し、そのグラフをかくことができる。 			
期	7	一次関数と方程式		<ul style="list-style-type: none"> ・二元一次方程式を 2 つの変数の間の一次関数の関係としてとらえ、一次関数の概念で考察することができる。 ・具体的な事象を一次関数としてとらえ、問題を解決することができる。 			
	9	平行線と角		<ul style="list-style-type: none"> ・対頂角の意味と性質、同位角、錯角の意味を理解している。 ・多角形の内角の和や外角の和の求め方を理解し、その性質を使って問題を解くことができる。 			

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考
後	10	三角形の合同	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の3つの合同条件を理解し、それを利用して合同な三角形を見つけることができる。 ・根拠を示しながら筋道を立てて仮定から結論を導くという証明のしくみについて理解し、簡単な証明をすることができる。 	
	11	三角形	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形や正三角形の性質について理解し、それらを活用することができる。 ・2つの直角三角形の合同条件を理解し、それを利用して合同な直角三角形を見つけたり、図形の性質を証明したりすることができる。 	
	12	平行四辺形	<ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形の3つの性質を理解し、それらを使って図形の角の大きさや線分の長さを求めたり、図形の性質を証明したりすることができる。 ・平行四辺形になる5つの条件を理解し、それらを使って図形の性質を証明することができる。 	
期	1	いろいろな四角形	<ul style="list-style-type: none"> ・長方形、ひし形、正方形の定義を理解し、それらの性質をまとめたり、活用したりすることができる。 ・面積が等しい三角形について理解し、それらを活用することができる。 	
	2	確率	<ul style="list-style-type: none"> ・各場合の起こることが同様に確からしい実験や観察において、確率を求めることができる。 ・表や樹形図などを利用して、場合の数を求めることができる。 	
	3	1年間のまとめ		